

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 1 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	株式会社ア・バン・ケア		
事業所名	グループホーム はなみずき		
所在地	広島県尾道市向島町立花3010-23 (電話) 0848-20-6022		
自己評価作成日	令和2年1月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100348-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年1月21日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

島内にある施設で、入居者さん方や職員の大半は同じ島内の住人なので、中にはお元気にご自宅で暮らされていた頃の入居者さんと顔なじみの職員もおります。そのため地域の昔話なども自然に行えており、ある意味施設内で地域ケアが行えています。そういった“島内”という小さなコミュニティ力を今後も弊施設の特色のひとつとして大切にしていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

気候が良ければ散歩が出来るようになっている。平屋を有効利用し、両ユニット間を開放し、いつでも利用者および職員が行き来している。基本理念の一つに、「地域との交流を通じて」事を掲げている。多数のボランティアの訪問や、秋祭りには、子ども神輿がホーム玄関前まで訪問され交流がある。その結果、地域との深い関わりが生まれている。利用者の個別ケアについて、その都度カンファレンスなどで、話し合いを重ねており、例えば通院など外出前日には入浴対応している。島内の職員が多く、職員同士が協力し合うことで、職場環境が良いことから、勤続年数の長い方が多い。利用者の高齢による重度化が進むなか、利用者一人ひとりの笑顔が一つでも増えるようにするために、中断していた日帰りバス旅行（利用者家族同伴）を昨年（令和元年）再開され、とても好評であった。

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えて目標に向けて実践につなげている。	前年度を振り返り、その年度の短期目標（1年間）を掲げ、毎月のカンファレンスで振り返りを行っている。職員が年間目標を掲げて取り組まれており、実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させていただくようにしている。	秋祭りには、子ども神輿がホーム玄関前に訪問され交流している。ボランティアの受け入れも、高等学校の吹奏楽、ハーモニカアンサンブル演奏会や腹話術など長年に渡り来所して貰い、地域と途切れない交流が続いている。職員は地域との付き合いの大切さを理解し、日々支援に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄附もさせて頂き、地域の方に認知症の人の理解と開かれた施設作りを目指している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族さんからの意見を取り入れその都度解決できる問題であればその場で討議し、納得していただいている。	会議は家族会と兼ねて開催されている。運営状況など、報告が行われ、住民からは地域の情報を聞く事が出来ている。地域包括支援センターなども参加し、その時期にあったアドバイスもあり、それらの意見をサービス向上に活かしている。適宜、利用者から参加者に抹茶を振る舞うこともある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協働関係を築くように取り組んでいる。	運営上の疑問があれば、市町や包括支援センターの担当者に報告や相談をもちかけている。	事故報告書など、その都度届けるなど随時連携を図っている。主に地域包括支援センターとの関りが多く、入居相談や3カ月に1回の地域包括支援センター主催のネットワーク会議に参加され、他事業所の取り組み状況、情報交換の場となっている。疑問など思う事や相談は、問い合わせをしている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープなど危険な場所を確認しづらいためやむなくオートロックをかけているが、入居者さんが望まれれば職員が同行して外出をしている。	身体拘束をしないケアは、年1回職場内研修を行い把握している。独自の自己評価シートを用いて自己検証している。例えば特に帰りたい利用者には、心のケアから始めている。危険な場所は、オートロックを必要時に使用するが、自由と安全のバランスに考慮し使用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	必要とされる入居者さんにおいては以前利用されていたこともあるので、必要性に応じて支援させていただけるように情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き不明な点は問い合わせいただき十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回の家族会及び運営推進会議の時に、ご家族様から意見が出たり要望があれば、それに向けて対応させて頂いている。(家族会の報告はカンファレンスで行っている)	来所時に意見を求める機会は設けている。例えば職員の顔と名前が分からないとの要望に答え、事業所は速やかに、掲示を張り出し、意見を反映されている。また事業所は、運営推進会議や広報誌などで、身近な出来事を知らせている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスの時や申し送りの時などで意見が出れば早急に対応し、出来ることは取り入れるようにしている。</p>	<p>職員からの意見は、様々な場面で聞く機会を設けている。利用者のケアについての意見を聞き、例えば利用者の食事を食べやすいように工夫するために、期間限定で、外注食でソフト食を提供してもらうなど、職員からの要望があれば、必要に応じて反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの生の声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善出来ることはしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップの為、研修は参加しやすいように研修費・参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の町内の施設合同の研修にも参加させて頂き、情報交換をしてより一層のサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>出来るだけ要望にお応えするように配慮している。利用者との信頼関係が一番なのでスタッフ一同気配り。心配りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接・契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設での対応方法を説明させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	まずは事前面接に伺い、その時の聞き取り調査・本人の状態など、面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用もあるなど提案させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様は皆様人生の経験者・先輩なので、常にお互いに勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者様のご家族とも、来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いたり、居室でご家族で団らんしていただいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	当施設では、夜間・深夜以外はいつでも面会を取り次いでいる。家族以外、知人・友人の面会もご家族様に了解のうえで取り次いでいる。	毎年、家族宛てに年賀状を送付している。例えば家族と共に、敬老会に行ったり、外食される方もおられる。携帯電話を所持される方もおられ、面会しやすいように、敢えて24時間面会は可能としている。知人・友人の面会もあり、居室でゆっくりと過ごせるように配慮されている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って皆さん共同生活されている。広告のごみ入れも作業を分担されて行っておられます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設にご転居であれば、地元のコミュニティー力での後のご本人の情報が入ってくるので、お見舞いや面会に訪れている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	中々思い通りの生活は叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように、本人の意思・意向を尊重しながら日々対応に努めています。	生活歴や生活習慣を把握している。改めて個別に話を聴くのではなく、日頃の関わりや会話のなかで、要望を把握できるようにしている。発言内容が記載された介護記録を参考に、出来る限り希望に近づけるよう努めている。入居以降の利用者個人用アルバムを作成している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したり、ご家族にお聞きしながら、日々の対応に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々で違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人ご家族の意向に沿った介護計画ができるよう、主治医の指示も仰ぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。	独自のアセスメントシートを用いて利用者毎の担当職員がアセスメントをしている。6カ月1回のモニタリングは、前回行ったアセスメントを見直し、必要な関係者が現状に即した介護計画を作成している。本人の身体状況に合わせ、介護計画の実施やモニタリングを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の小さな変化や、細かく個別記録に記入することにより職員間で情報の共有をしケアや介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来るだけ入居者様・ご家族様の意向に沿うように心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源を把握することで、出向ける事には参加しようと思うが出向ける人が限られているので、ボランティアなどで入って頂くことで生活に張りが出てきている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本来は提携医があるので、変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な方はそのままかかりつけ医の往診を支援している。	入居時に、家族と相談しながら、かかりつけ医を決めている。月2回の往診体制や、24時間連絡体制が整っていることもあり、大半が、ホームのかかりつけ医となっている。必要に応じて、歯科や皮膚科の来診があり、適切な医療を受けられるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時には、利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、様子を伺いに行ったり病院と連絡を取るよう心がけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により、終末期に向かう段階で、ご家族様と話をさせていただき、ある程度の方針を決めて、看取りまでの過程を説明している。	職員の多くは看取りの経験がある。入居時に家族への説明は行われ、重度化した場合改めて医師や家族と話し合いを行い、方針を共有しながらチームで支援する体制がある。希望があれば家族もホームで寝泊りが可能としている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するように指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練・救命救急の訓練・指導は実施しているが、地域との協力のもとに実践が伴っていない。	消防署職員立ち合いのもと、日中総合訓練、夜間想定訓練を実施している。昨今の災害状況を受けて、地域の方から気にかけてもらっている。減災の取り組みとして、2日分の備蓄も確保している。海岸付近でもあり、津波による災害が想定されるので消防署職員に随時、アドバイスを頂いている。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その点は、スタッフも十分配慮していると思う。居室の訪問時には、中に居なくてもノックして入室し、利用者様にも声をかけて入室するように努めている。	利用者の生活歴や生活習慣を把握し、職員は情報を共有しながらケアしている。例えばトイレのドアは閉める、居室に入るときはノックをする事で、プライバシーを守るなど対応している。相手が不快にならないように、親しみやすい言葉掛けとし、個々の利用者に合わせて言葉掛けをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては、対応できる範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて、一人ひとりの思いを大事にしている。日々に日課として体操・ストレッチも声掛けはするが、強要はしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時、鏡をみてもらい自分の顔をしっかりとみてもらい、整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚・視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えています。勿論、食事は一緒に摂り、メニューの話や味付けの話題などで盛り上がります。片付け・食器拭きなど手伝ってもらっています。	季節ごとの行事食、毎日3食手作りで提供している。誕生日には、ばら寿司または赤飯を選択して頂き、手作りケーキでお祝いしている。本人の能力に応じて、料理の下準備などをされている。適宜、利用者と一緒に買い物に出掛けたり、おやつ作りなど、職員は工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量・形態・時間など，一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，口腔ケアの声掛け・介助させていただいている。ご家族・ご本人の希望に合わせて，月2回，歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し，定期的な声掛け誘導を実施している。</p>	<p>トイレに座ることを基本にしたケアに取り組んでいる。介護記録を活用し，24時間の個別記録を基に，排尿・排泄パターンを把握し，トイレ誘導や，紙おむつを工夫している。その結果，紙おむつから布パンツへの移行，紙おむつからリハビリパンツへ移行した方もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防の為，毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は，時間などに関係なく，その都度入浴，又はシャワー浴の支援を行っている。また通院など外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>	<p>週2回の午後（14：00～16：30）の時間帯で3～4人入浴している。通院など外出前日には入浴の対応をしている。身体状況に応じて，リフト浴，シャワーチェア，足浴器を使用し，快適な入浴が出来るよう心掛けている。適宜，入浴剤を使用し，冬至には，ゆず湯に入る習慣がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その日の体調に合わせて、昼食後に午睡をされる方とされない方がいる。夕食後は、一人ひとりの時間に合わせ、入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬が変わった時は、連絡ノートや申し送りなどで行い、服薬は飲み込まれる最後まで見届け確認するようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人の残存機能を活かせる役割を見つめたり、趣味や楽しみが持続できるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力していただき、一緒に外出される方もおられます。</p>	<p>ホーム目の前は遊歩道があり、気候が良ければ散歩している。行事担当職員が年間計画を作成し、季節ごとの外出支援をしている。家族の協力で外出、外食に出掛ける方もいる。中断していた日帰りバス旅行(利用者家族同伴)を昨年(令和元年)再開し、とても好評であった。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人が、お金の管理をされている方には、買い物に同行支援している。自分で管理されていない方には金額を決めて買い物をしていただくこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(海)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、殆どの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応としている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしています。冬場は暖房の乾燥予防の為、加湿器や空気清浄機を設置している。</p>	<p>掃除チェック表をもとに、共用部分を丁寧に掃除している。衛生面にも気配りし、換気や室温調整を行い、利用者の健康管理に努めている。天井が高く、ゆったりとした空間により、利用者同士の会話も楽しまれており、一人ひとりが心休まる生活をされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>個室なので、いつも気兼ねせず、自分の部屋でゆっくり静養できる。またリビングのソファで、利用者同士お話をされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきていただき、落ち着いて過ごして頂けるようにしている。(湯呑や茶わんの他、写真・仏壇・寝具など)</p>	<p>居心地よく生活して頂くために、本人や家族と相談しながら使い慣れた家具など、生活必需品を自由に持ち込まれている。本人の生活習慣に応じて、居室では、趣味で編み物、天風録を書写される方もおられる。必要時、ベッドから畳スペースに変更することができる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせていただいている。</p>		

V アウトカム項目(海) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域密着型の意義を理解し、それに基づいて理念を職員全員で共有している。短期目標も考えて目標に向けて実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事にも積極的に参加させていただくようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事やお祭りなどの寄附もさせて頂き、地域の方に認知症の人の理解と開かれた施設作りを目指している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族さんからの意見を取り入れその都度解決できる問題であればその場で討議し、納得していただいている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営上の疑問があれば、市町や包括支援センターの担当者に報告や相談をもちかけている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠に関しては、建物の構造上リビングから段差やスロープなど危険な場所を確認しづらいためやむなくオートロックをかけているが、入居者さんが望まれば職員が同行して外出をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日々の対応の中で身体の異常の有無の確認や虐待防止の施設内研修なども実施・再確認しながらケアにあたっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	必要とされる入居者さんにおいては以前利用されていたこともあるので、必要性に応じて支援させていただけるように情報交換は行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には事前に内容を説明させて頂き不明な点は問い合わせいただき十分理解・納得されたうえで本契約させて頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	二か月に一回の家族会及び運営推進会議の時に、ご家族様から意見が出たり要望があれば、それに向けて対応させて頂いている。(家族会の報告はカンファレンスで行っている)		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンスの時や申し送りの時などで意見が出れば早急に対応し、出来ることは取り入れるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>スタッフの生の声が聴ける環境作りをすることで、しっかり話し合い、改善出来ることはしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>スキルアップの為、研修は参加しやすいように研修費・参加費など施設側が負担してくれている。また、施設内研修も取り入れている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域包括支援センター主催の町内の施設合同の研修にも参加させて頂き、情報交換をしてより一層のサービスの向上につなげたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>出来るだけ要望にお応えするように配慮している。利用者との信頼関係が一番なのでスタッフ一同気配り。心配りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接・契約時にご家族様の今までの苦勞話に耳を傾けながら、当施設での対応方法を説明させて頂いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>まずは事前面接に伺い、その時の聞き取り調査・本人の状態など、面接の上で当施設で受け入れ可能か、あるいは他の施設の利用もあるなど提案させて頂いている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様は皆様人生の経験者・先輩なので、常にお互いに勉強をさせて頂いているという気持ちで接するように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様のご家族とも、来所の折には施設での様子をお伝えしたり、逆にご家族様から新しい情報を教えて頂いたり、居室でご家族で団らんしていただいています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>当施設では、夜間・深夜以外はいつでも面会を取り次いでいる。家族以外、知人・友人の面会もご家族様に了解のうえで取り次いでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	趣味や手作業など、お互いに教え合ったり困っていたら声を掛け合って皆さん共同生活されている。広告のごみ入れも作業を分担されて行っておられます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	島内の施設にご転居であれば、地元のコミュニティー力でその後のご本人の情報が入ってくるので、お見舞いや面会に訪れている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	中々思い通りの生活は叶えてあげられないが、より近いものにしてあげられるように、本人の意思・意向を尊重しながら日々対応に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々の会話の中から生活歴を引き出したり、ご家族にお聞きしながら、日々の対応に反映させている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々で違うので、お一人ずつに適した生活様式を把握してその時々に応じた対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人ご家族の意向に沿った介護計画ができるよう、主治医の指示も仰ぎ、カンファレンスでも話し合いながら現状に即した介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の小さな変化や、細かく個別記録に記入することにより職員間で情報の共有をしケアや介護計画に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>出来るだけ入居者様・ご家族様の意向に沿うように心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域資源を把握することで、出向ける事には参加しようと思うが出向ける人が限られているので、ボランティアなどで入って頂くことで生活に張りが出てきている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来は提携医があるので、変わって頂くのを前提としていますが、かかりつけ医が町内で往診可能な方はそのままかかりつけ医の往診を支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	非常勤の看護職員の出勤時には、利用者様の特変を報告し適切な指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態にもよるが、出来るだけ入院期間は短期間が望ましいので、様子を伺いに行ったり病院と連絡を取るよう心にかけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医からの指示により、終末期に向かう段階で、ご家族様と話をさせていただき、ある程度の方針を決めて、看取りまでの過程を説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に備えて緊急マニュアルを作成し、それに従い落ち着いて対応するように指導している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設に於いては定期的に避難訓練・救命救急の訓練・指導は実施しているが、地域との協力のもとに実践が伴っていない。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その点は、スタッフも十分配慮していると思う。居室の訪問時には、中に居なくてもノックして入室し、利用者様にも声をかけて入室するように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己主張できる方に関しては、対応できる範囲でお応えさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	集団生活ではあるが、個々の自主性を優先させて、一人ひとりの思いを大事にしている。日々に日課として体操・ストレッチも声掛けはするが、強要はしないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝のモーニングケア時、鏡をみてもらい自分の顔をしっかりみてもらい、整容の支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来るだけ味覚・視覚は大事にしたいので季節の旬の物は提供したいと考えています。勿論、食事は一緒に摂り、メニューの話や味付けの話題などで盛り上がります。片付け・食器拭きなど手伝ってもらっています。		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>量・形態・時間など，一人ひとりの状態に応じて支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，口腔ケアの声掛け・介助させていただいている。ご家族・ご本人の希望に合わせて，月2回，歯科衛生士による口腔ケアの訪問もほとんどの方が実施されている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄状況を記録し，定期的な声掛け誘導を実施している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防の為，毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分補給も細目に心がけている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>便失禁などの時は，時間などに関係なく，その都度入浴，又はシャワー浴の支援を行っている。また通院など外出予定日の前日には入浴の対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>その日の体調に合わせて、昼食後に午睡をされる方とされない方がいる。夕食後は、一人ひとりの時間に合わせ、入室消灯されている。消灯時間も決まっていない。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬が変わった時は、連絡ノートや申し送りなどで行い、服薬は飲み込まれる最後まで見届け確認するようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人の残存機能を活かせる役割を見つけたり、趣味や楽しみが持続できるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い日には、出来るだけ散歩やドライブの声掛けをしている。ご家族の面会時には協力していただき、一緒に外出される方もおられます。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人が、お金の管理をされている方には、買い物に同行支援している。自分で管理されていない方には金額を決めて買い物をしていただくこともある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(空)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	個人で携帯電話を所持されている方もおられますが、殆どの方が施設の電話での取次ぎや貸し出しの対応としている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	午前中は光が眩しすぎるので、カーテンなどで遮るようにしています。冬場は暖房の乾燥予防の為、加湿器や空気清浄機を設置している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室なので、いつも気兼ねせず、自分の部屋でゆっくり静養できる。またリビングのソファで、利用者同士お話をされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使われていた馴染みのあるものを持ってきていただき、落ち着いて過ごして頂けるようにしている。（湯呑や茶わんの他、写真・仏壇・寝具など）		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	一人ひとりに何が出来るかを見つけ、残存機能を活かせるような見守り、声掛けをさせていただいている。		

V アウトカム項目(空) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

a

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 2020.2.24(月)

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	すべての入居者さん方が均等に外出の機会が持てていない。	個々の心身の様子に合わせた外出支援を行う。	外出が難しい身体状況の方も、可能な範囲でベランダや庭先に出て頂く。	6か月
2	5	身体拘束に関する研修の場が少ない。	虐待や身体拘束に関する知識を身につける。	研修回数を増やす。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。